



## 図書館に関する記念日を知ろう！

3月6日「スポーツ 新聞の日」…1946年3月6日に日本初のスポーツ新聞「日刊スポーツ」が創刊されたことを記念し、制定された。

3月27日～4月9日「絵本週間」…アンデルセンの誕生日で「国際子どもの本の日」である4月2日の前後2週間絵本文化の発展と教育の場や家庭に「絵本読書」が定着することを願って設けられました。



## 東日本大震災(3.11)から15年 —— 震災を経験した一人として

2011年3月11日、私は地元「福島県南相馬市」で被災しました。高校を卒業して10日後のことでした。地元のメガネ店で視力検査を受けている最中、持っている携帯電話から緊急地震速報が鳴り、画面を見た直後に大きな揺れが襲いました。(震度6弱)

店内のガラスや専用機器は倒れ、大きなガラス窓を見ると地面が波打つように見えたのを覚えています。その後、自宅に戻りテレビをつけると、津波が町をのみ込む映像が流れていました。(自宅は断水)見慣れた景色が黒い海に覆われていく様子に、言葉にならない恐怖を感じました。

翌日、原子力発電所の水素爆発が起き、目に見えない放射性物質への不安が広がりました。家族と祖父母宅のある「飯館村」に避難し、絶え間なく続く余震と警報音の中、祖父母と共に避難した親戚と共に眠れない夜を過ごしました。

災害は突然起こります。当たり前が当たり前に来なくなってしまうことを思い知らされました。震災の2日前にも地震はありましたが、あれほどの大災害を予測することができませんでした。

15年経った今も、あの時の記憶は鮮明に残っています。私ができることは、この経験を伝えていくことです。そして、正しい情報を知り、備えることの大切さを次の世代につなぐことだと思っています。

図書館には東日本大震災に関する本があります。図書館に来たときはぜひ手に取って読んでみてください。

## 令和7年度 各クラスの貸出状況報告

3月より、図書掲示委員会では「蔵書点検」作業を進めています。「蔵書点検」とは、図書館にあるすべての本がきちんと棚にそろっているか、なくなっている本はないか、正しく管理できているかを一冊ずつ確認する大切な作業です。

卒業生	《2月(3年は貸出1月まで)》		《令和7年度(年間)》		えんたい 延滞 にんずう 人数
	かしたしさつう 貸出冊数	さつじょう 40冊以上	かしたしそくけい 貸出総計	さつじょう 100冊以上	
1-1	127冊	9人	1,341冊	1人	0人
1-2	124冊	8人	1,318冊	3人	0人
1-3	85冊	11人	1,116冊	1人	0人
2-1	84冊	8人	1,528冊	5人	1人
2-2	27冊	10人	1,881冊	7人	0人
2-3	59冊	10人	1,067冊	4人	0人
3-1		5人	1,069冊	2人	0人
3-2		13人	1,658冊	6人	0人
3-3		14人	2,127冊	6人	0人

## 最優秀賞・最優秀多読賞 優秀多読賞のみなさん

### 【最優秀賞】

(1年間で最も多く本を借りたクラス)  
「3年3組 / 2,127冊」

### 【最優秀多読賞】

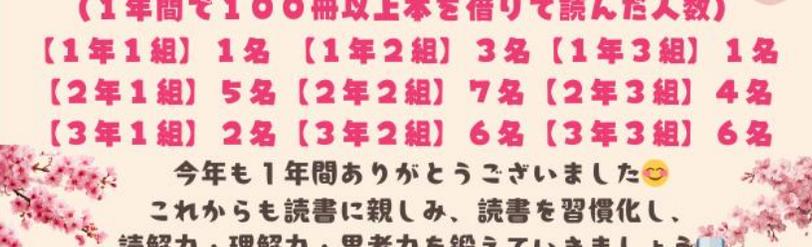
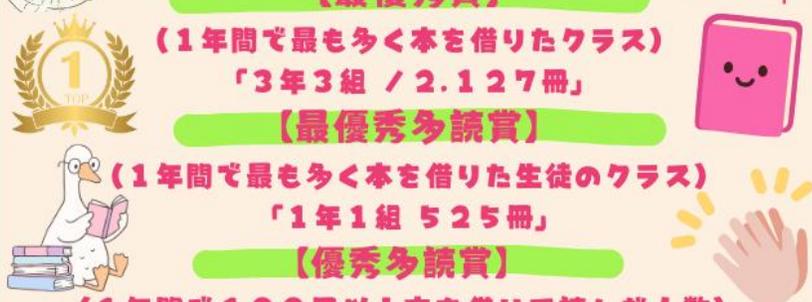
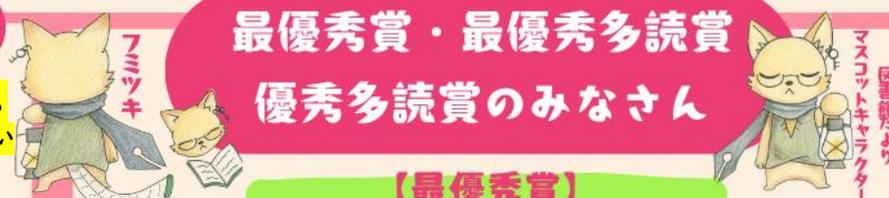
(1年間で最も多く本を借りた生徒のクラス)  
「1年1組 525冊」

### 【優秀多読賞】

(1年間で100冊以上本を借りて読んだ人数)

【1年1組】1名 【1年2組】3名 【1年3組】1名  
【2年1組】5名 【2年2組】7名 【2年3組】4名  
【3年1組】2名 【3年2組】6名 【3年3組】6名

今年も1年間ありがとうございました😊  
これからも読書に親しみ、読書を習慣化し、  
読解力・理解力・思考力を鍛えていきましょう📖



# 卒業おめでとうございます

R7年度は  
**88名**  
40冊達成



みんなの力であつた  
満開の桜を咲かせましょう



今年の卒業制作  
(司書から3年生へ  
プレゼント)

「若者に捧げる歌」

若者よ眠れ 時が過ぎ やがて目覚めるその日まで  
若者よ眠れ やがて雄々しく立ちあがり 一步踏み出すその日まで  
食べ遊び そして眠れ 願わくば 悪い夢を見る事なく 笑って眠れ  
良いものだけ見て 健やかに育て  
たとえ悲しく泣きたいときも あまり気にせず眠ってしまえ  
楽しい明日を夢見て眠れ  
たとえ怒って言いたいときも なやに忘れて眠ってしまえ  
喜ぶ明日を夢見て眠れ  
たとえ今日が暗くとも 明日はやはり明るい日だから  
朝は永遠に明るいのだから

目覚める朝は 目覚めたときは かならずいつも明るい日だから  
だから眠れ すべて忘れてしまえ 明日を夢みて忘れてしまえ  
すべて忘れて眠ってしまえ 新たな今日にそなえて眠れ  
昨日は昨日 今日今日 今日明日は明日にそなえて眠れ  
そして確かに明日はある しかし 昨日も昨日は 今日であった  
今日も明日に、昨日に、明日も明日に、今日になる  
ならば今日、今の時を 精一杯楽しむ その心は常に明るく輝い  
ならば若者よ それをよりよく楽しむために  
じっくりかみしめ味わいつくせ 明日の今をも楽しむために  
時を上手に使いこなせ 大地と、水と、太陽で生まれ育った君ならば  
今度は、その君自身の意志で 若者よ目覚めよ  
この世でいちばん美しいのだから 君の持つ力こそが  
この世で最も強いものだから 若者よ動き始めよ 君の持つ時間こそが  
その人生において最も長く尊く、力あるものだから  
最も貴重なものだから

今の一分一秒が、今この一瞬が 明日の君、君の未来を創るのだから  
人のために尽くす その心は常に清く輝い  
ならば若者よ その為にこそ今、自分に尽くせ その心を先ず、  
自分に向けよ 鍛えぬき、見、聞き、動き、自分を造れ そして待て  
やがてはその自分だけがなく 人に向けてもありあり、大いなる力を  
若者よ やはり君も持たねばなるまい、その君の人生の目的を  
人はその為に努力し 人はそれを故に伸びるものだから  
君もやがては起き上がり ひとり歩けるものだから  
その目標はなんでもよい 幼い時に君が見た ひそかに抱いた夢でいい  
どんな小さなものでもいい、どんな大きなことでもいい  
人から与えられたものでもいい、最終的にその君が「よし 決めた」と  
言えば、それでいい、しかし若者よ、これだけは決して忘れるな  
「ともに生き、ともに伸びる」  
ここにすべてが用意されていたというのを  
そこにすべてが待っているということ

手と手をつないだ輪の中に 心を結んだその和の中に  
すべてがあるんだということを 友ありて 我なかりせば 友もなく  
我ありて 友なかりせば 我もまたなし 友ありて 我あり 喜あり  
涙あり 君よ微笑め 静かにやさしく、さわやかに 君よ笑え  
五体をゆすって、ごうかいに 心の底から元氣よく  
笑顔と元氣を忘れた君に、なんの魅力もあはしはしない、なかなしく  
男の君であるまえに、女の君であるまえに  
一人の人間としての君であれ、その為にこそつちかかっていく、君であれ  
その上にごを積み重ねていく、君であれ 伴に生き 伴に伸びる  
すべてはここから始まり、真の一步はこれを除いて踏み出し得ない  
若者よ歩け たとえ道は遠くても、その目指すところは一つ  
若者よ進め、より確かなもの、その永遠をめざして  
そして君よ 永遠に若者たれ

潮平中学校 3年生のみなさん  
卒業おめでとうございます。図書館で過ごした時間を、覚えていますか。友だちと何気なく立ち寄った昼休み。「読む本はないなあ」と言いながら棚を眺めた放課後。テスト前に静かに席に座っていた姿。ページをめくる音だけが響いていた時間。どれも特別な出来事ではないけれど、今思えば、それはかけがえのない日常でした。同じメンバーで笑うことも、同じ教室に集まることも気づかないうちに「最後」が過ぎていきます。だからこそ忘れないでください。あなたたちはこの場所で確かに3年間を生きたということ。本は、不思議なものです。今は何気なく読んだ一冊が、何年もあとになって、あなたを支える言葉になることがあります。もし未来で少し疲れたら、図書館を思い出してください。静かて、安心できて、あなたがあなたのままでいられた場所を。あなたたちのこれからの人生に、やさしい物語が続いていくことを願っています。卒業、本当におめでとう。  
潮平中学校 図書館